

最先端のがんクリニック、ABBYYのインテリジェント文書処理 (IDP) で患者ケアを加速化・改善



常時100以上のプロジェクトが進行中で、毎年6万人近い患者にサービスを提供しているクリス・オブライエン・ライフハウス (Chris O'Brien Lifehouse) は、オーストラリア有数のがん治療・研究施設です。ABBYY IDPは、紙の記録を80%削減し、重要な患者情報をより迅速かつアクセスしやすくするのに役立っています。

過去のすべての文書に素早くアクセスできるかどうか、患者体験に与える影響を最も大きく左右します。臨床と外来の予約を迅速に行うことができるため、待ち時間はありません（または大幅に短縮されます）。すべてをオンラインで完結できるのです。

↳ ジョブ・シミック (Jov Simic)、臨床アプリケーションの専門家

チャレンジ

スタッフは、クリス・オブライエン・ライフハウスに登録する患者一人一人に、すべての予約や入院時に必要な物理的なフォルダを作成していました。すべてのカルテは紙で作成され、物理的な医療記録に保存されていました。

そして、がん患者は90日以上入院するため、紙の記録はすぐに山積みになってしまいます。そのため、スタッフは分厚いファイルを病院中で探す必要があったのです。医師たちは、クリニックの目標であるホリスティックな統合医療を実現するために必要となる具体的な情報を見つけることに苦労していました。

ペーパーレス環境の目標を達成するために、組織は次のようなことを必要としていました。

- 膨大な量の紙の書類をデジタル化する方法
- 最高水準の患者ケアと研究の質を提供するために、可能な限り高い精度を実現すること

ソリューション

ABBYY IDPは、検索、長期保存、共同作業、または追加処理のために、大量に収集された文書を自動的に変換します。

IDPソリューションは、クリス・オブライエン・ライフハウスで病院全体で使用されており、現在も紙媒体で処理されているあらゆる文書を処理しています。高速で正確な結果を提供するAI搭載の光学式文字認識 (OCR) により、約90種類の文書定義を簡単に処理できます。

組織は、安全でリアルタイムのオンライン予約を可能にすることで、臨床と外来の予約を迅速に行うことができるようになりました。がん患者にとって、それは非常に重要なことです。

価値



紙記録のバックログの80%を解消



ペーパーレス化により、年間5万ドル以上を節約



患者の全病歴への迅速なアクセスにより、より質の高い医療を提供



医療記録の担当者の燃え尽き症候群が減少し、別の分野で価値を発揮することが可能に